

5. 施設関連

5.1. 施設一般

5 施設

1 施設一般

提言 5-1

仮眠・休憩設備の導入

学生の意見

- 1 日の睡眠時間は、約 4 割の学生が、6 時間以下となっています。(図 5-1.1 参照)
- 充実してほしい設備のデータで、仮眠室が 1 位となっています。(図 5-1.2 参照)
- 講義の課題によって徹夜を余儀なくされているが、余っている部屋を仮眠や休憩のために開放してほしい。
- 仮眠休憩設備がほしい。(同様意見 4 件)

現状分析

学勢調査 2014 の際の学生支援課とのキャンパスミーティングでは、大学側としては、仮眠室を設置しないといけなような教育は間違っていると考えたとの回答を受けました。確かに、大学内に宿泊までしなければならないカリキュラムではないですが、課題などで徹夜をしたり、研究で夜遅くまで実験したりして、睡眠不足のまま次の日を迎える人は実際少なくなく、約 4 割の学生が 6 時間以下の睡眠時間となっています(図 5-1.1)。このような睡眠不足の状態にある学生が、講義や研究に効率よく取り組むためにも、仮眠がとれるような設備が必要ではないかと考えます。さらに、「充実してほしい施設」のデータで仮眠室が第 1 位になっているように(図 5-1.2)、多くの学生は、仮眠がとれる設備が欲しいと希望しています。ただし、夜間も使用可能な仮眠施設では、そこに泊まる学生がでしまう可能性があるため、昼間だけ使用可能かつ警備員がいる仮眠室が望ましいと考えます。

現在、睡眠不足の学生は、机に伏せて仮眠をとったり、大学内にあるいくつかのソファで仮眠をとったりしています。附属図書館には、地下 1 階の窓際に白い椅子(図 5-1.3 参照)が設置されていますが、これは読書用の椅子となっています。旧附属図書館跡地に、約 3 年後にフリースペースなど学生のための施設が建設される予定で、ここに仮眠施設を設置できる可能性はあります。すずかけ台キャンパスには、大学会館の 3 階やいくつかの施設(J2・J3 棟など)に休憩用のソファが設置されています。

海外の大学を調査すると、ミシガン大学²²やマイアミ大学²³、マンチェスター大学²⁴、テキサス A&M 大学²⁵などの大学では、図書館などに仮眠室(図 5-1.4 参照)や Sleep Pod(図 5-1.5 参照)が設置されています。これらは 1 日前などに予約が必要で、使用時間は 1 人 30 分まで等と定められています。

²² ミシガン大学: <https://www.michigandaily.com/news/csg-implements-first-napping-station-ugli>

²³ マイアミ大学: <http://www.miaminewtimes.com/news/university-of-miami-students-now-have-9-000-napping-pods-to-use-on-campus-8241336>

²⁴ マンチェスター大学: <http://www.manchestereveningnews.co.uk/news/greater-manchester-news/manchester-university-installs-futuristic-sleeping-9197533>

²⁵ テキサス A&M 大学: http://tamucc.edu/news/2014/03/030414%20Sleep%20Pod.html#.WK5iW_mLTb0

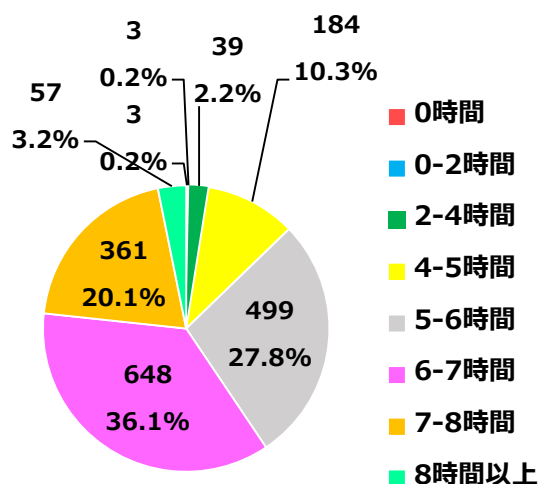


図 5-1.1 1 日の睡眠時間の回答結果

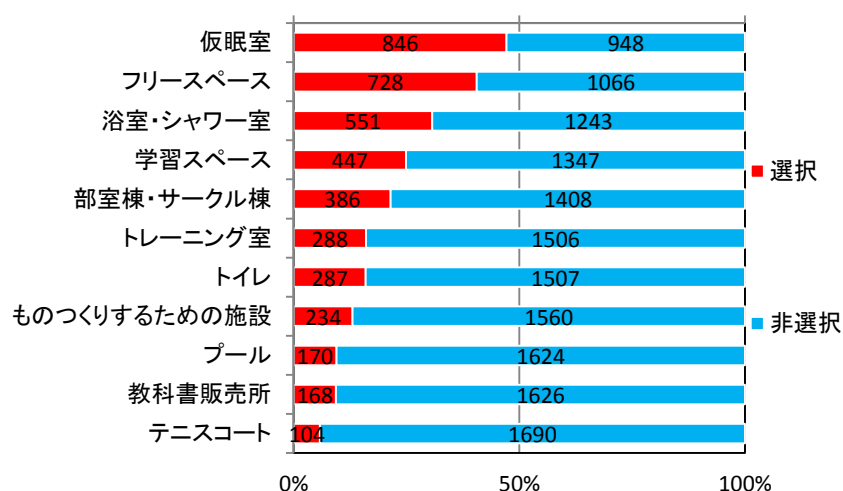


図 5-1.2 充実してほしい施設の回答結果



図 5-1.3 附属図書館の白い椅子



図 5-1.4 Napping Station(ミシガン大学)



図 5-1.5 Sleep Pod(マイアミ大学)

これらの現状を踏まえて学生支援課とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

Q1. 夜間は使用禁止の仮眠施設を設置できませんか。

A1. スペースがあれば、休息しやすい椅子を設置する事は可能です。昼間のみ使用できる休憩施設であれば実現できるかもしれません。

また、教務課とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

Q1. 学生支援課は、夜間使用禁止の休憩スペースであれば実現可能とのことでしたが、教務課としてはどうお考えですか。

A1: 水本副学長. 私や教務課ではなく、学生支援課や附属図書館に対応して頂ければと思います。しかし、教育を運営する立場としての考えをお答えします。私は昼寝をするスペースはあればいいと思います。

A1. 徹夜をしてしまう教育が間違っていると考えていますが、そういった状況もあることは認識しており、仮眠や休憩のできる施設があってもいいと考えています。教務課としては問題ありません。

また、附属図書館とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

Q1. 附属図書館に、開館時間のみ使用可能な仮眠設備を設置できませんか。

A1. 設置すると閲覧席が少なくなってしまう。閲覧スペースと所蔵能力との兼ね合いの中で最大限努力して今の閲覧席数にしたため、追加でスペースを確保するのは難しい状況です。附属図書館は基本的に学習活動や読書のための場ですので、仮眠設備を導入することは現時点では考えていません。

Q2. 附属図書館の窓際にある白い大きな椅子を仮眠施設として活用できませんか。

5. 施設関連

A2. その椅子はリラックスしてもらうために、またくつろいだ気分で読書を楽しんで頂くために導入しましたし、そのように利用されています。あの椅子も、スペースの都合上、これ以上増やすことは難しいです。

また、理学院事務グループと工系事務第1グループから書面で以下のような回答を頂きました。

Q1. 学科のフリースペースの管理は、学科に任せていますか。

A1: 理学院事務グループ. 学科からの要望もあり、学科に管理を任せています。

A1: 工系事務第1グループ. フリースペース＝リフレッシュルーム等と理解して回答しますと、現在、各スペースの管理については系(旧専攻)ごとによって異なります。また、スペース及び共有施設において、その使用方法等における課題(整理整頓やゴミの散乱など)も報告されています。なお、大学(執行部)としての全学的な方針が示されれば、部局長等と相談のもと、仮眠・休憩設備について検討の余地はあると考えます。そのため、大学執行部からの回答が適切かと思われます。

以前の調査との比較

前回の学勢調査 2014 では、10～22 時に利用できる仮眠可能なフリースペースを設ける、もしくは特定のフリースペースの規則に仮眠可能を追加することが提言されましたが、実現されていません。

提言

教務課や学生支援課は、現状の学生の睡眠状況について認識されており、昼間のみ使用可能な休憩スペースであれば、設置に前向きな考えを示されました。しかし、大岡山キャンパスには新しく設備を導入できるだけのスペースがあまりなく、現存の施設の中に、新しく仮眠のための部屋を作るのは難しいと考えられます。そこで、附属図書館や学科のリフレッシュルームなど、いろいろな施設に、図 5-1.3 のようなあまりスペースをとらない仮眠可能な設備を導入することが望ましいと考えられます。

そこで、大学執行部に対して、大学内に仮眠設備を導入するという、全学的な方針を示していただくことを提言します。具体的には、各学科が管理しているリフレッシュルームや附属図書館などに、昼間のみ使用可能な、図 5-1.3 のような仮眠がしやすい設備の設置となります。また、盗難に備えて、図書館の受付や学科の事務に貴重品を預けられるようにすることを提言します。さらに、旧附属図書館跡地に建設予定の施設に、仮眠室もしくは、仮眠が可能な設備を導入するように検討することを提言します。

学生の意見

- 講義のある祝日も通常運営してほしい施設として、以下の意見が寄せられました。

食堂（7 件）

図書館（10 件）

事務室（9 件）

現状分析

今年度から、教育改革でクォーター休みができたことにより、講義を実施する祝日が増えました。しかし、学生は登校するにも関わらず、休日扱いで運営していない施設があります。学生からは、食堂や図書館、事務室も、講義のある祝日は通常通りに運営してほしいとの意見が出ています。実際に、祝日は学食も学内コンビニエンスストアも運営されていないため、学生は大学外で食事をしなければならない状況となっています。また、災害が起きた際に、学生の避難誘導をする職員が出勤していないと混乱が生じる可能性もあると考えられます。

これらの現状を踏まえ、教務課とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

Q1. 現在、祝日の講義をクォーター休みにずらすなどの変更は予定していますか。施設を利用できない祝日に講義があることに関して、学生から不満の声が上がっていますが対策はありますか。

A1. 変更は予定していません。平成 29 年度はクォーター間の休みはありません。週 2 回の講義を円滑に進めるため、極力、曜日の入れ替えは行わないように講義日程が組まれています。

Q2. 講義のある祝日に施設が運営されていないことは問題と考えられていますか。災害が起きた場合どう対応するのか、マニュアルなどは作られていますか。台風が来た場合などに講義を行うか判断し、メールを配信するのはその日の朝だと思いますが、祝日はどのようにされていますか。

A2. 総合安全管理部門で、「災害時の基本行動」「大地震対応マニュアル」²⁶を作成しています。台風が来て休講にするかについては、休日でも職員が連絡を取り合って対応しています。

Q3. 祝日は教務課や学生支援課などは運営されていないとの意見が上がっていますが、対策本部（災害が起こった際に設置される）の構成員の方は出勤していますか。

A3. 教務課は祝日でも通常運営しています（講義の運営に関わる部署は通常運営）。教務課の構成員は出勤していますが、学生支援課などの他の部署は休日となっているため、電話で連絡を取り合い、被害状況によって本部を設置する必要が生じた場合には、出勤します。

Q4. 来年度（平成 29 年度）の祝日講義はどのくらいありますか。

A4. 4/29(土)、7/17(月)、11/3(金)の 3 回です。

A2 で回答をいただいた、地震対応マニュアルの 30 ページに、表 5-2.1 の災害発生初動時の教職員と学生の対応をまとめた表がありました。この表では、祝日でも講義がある日は就業・就学中の区分となり、対策本部の構成員は全員出勤していることになっています。しかし祝日は、講義の運営に関わる部署以外は休日扱いとなり出勤していないため、現時点では、祝日講義の際の、教職員の災害発生時のマニュアルが作成されていないことになります。

²⁶ 総合安全管理センター 大地震対応マニュアル：<http://www.gsmc.titech.ac.jp/jishin/jishn%20manual.html>

表 5-2.1 災害発生初動時の教職員と学生の対応について(震度 6 弱以上)

災害発生の区分	教職員・学生の区分	対応措置
就業・就学中	対策本部等の構成員	帰宅せず、復旧・復興活動を行う。
	構成員以外の教職員	帰宅指示後、帰宅判断をする。帰宅後は自宅待機。
	学生	帰宅指示後、帰宅判断をする。帰宅後は自宅待機。
休日・夜間	対策本部等の構成員	出勤可能な場合は出勤し、復旧・復興活動を行う。
	構成員以外の教職員	各キャンパスに徒歩圏内(半径 2 km)に住む教職員は出勤し、対策本部の指示に従う。
	学生	自宅待機とする。
通勤・通学途中	対策本部等の構成員	出勤可能な場合は出勤し、復旧・復興活動を行う。
	構成員以外の教職員	出勤可能な場合は出勤する。 その後は、対策本部の指示に従う。

※ 震度 5 強以下の場合においても、災害対策本部の設置が決定された場合には、上記の対応をとる。

提言

曜日を入れ替えて講義を行うことがないようにするため、祝日に講義を行うことは止むを得ません。しかし、現状分析にも書いた通り、祝日講義の際に災害が起きた場合のマニュアルは作成されておらず、災害が起こった場合には、その混乱状況によっては対策本部構成員がキャンパスに到着できないなどの問題が生じる可能性があります。

そこで、祝日講義の場合の災害対応マニュアルを作成する事と、祝日講義の際に対策本部構成員が出勤する事を提言します。また、生協には、祝日でも講義のある日には食堂を通常運営していただくことを提言します。

学生の意見

- 喫煙所が人通りの多いところにあり、臭いが拡散していて喫煙所の役割を果たしていない。（同様意見 55 件）
- 喫煙者は隅に追いやられており、いい気分ではない。（同様意見 5 件）

現状分析

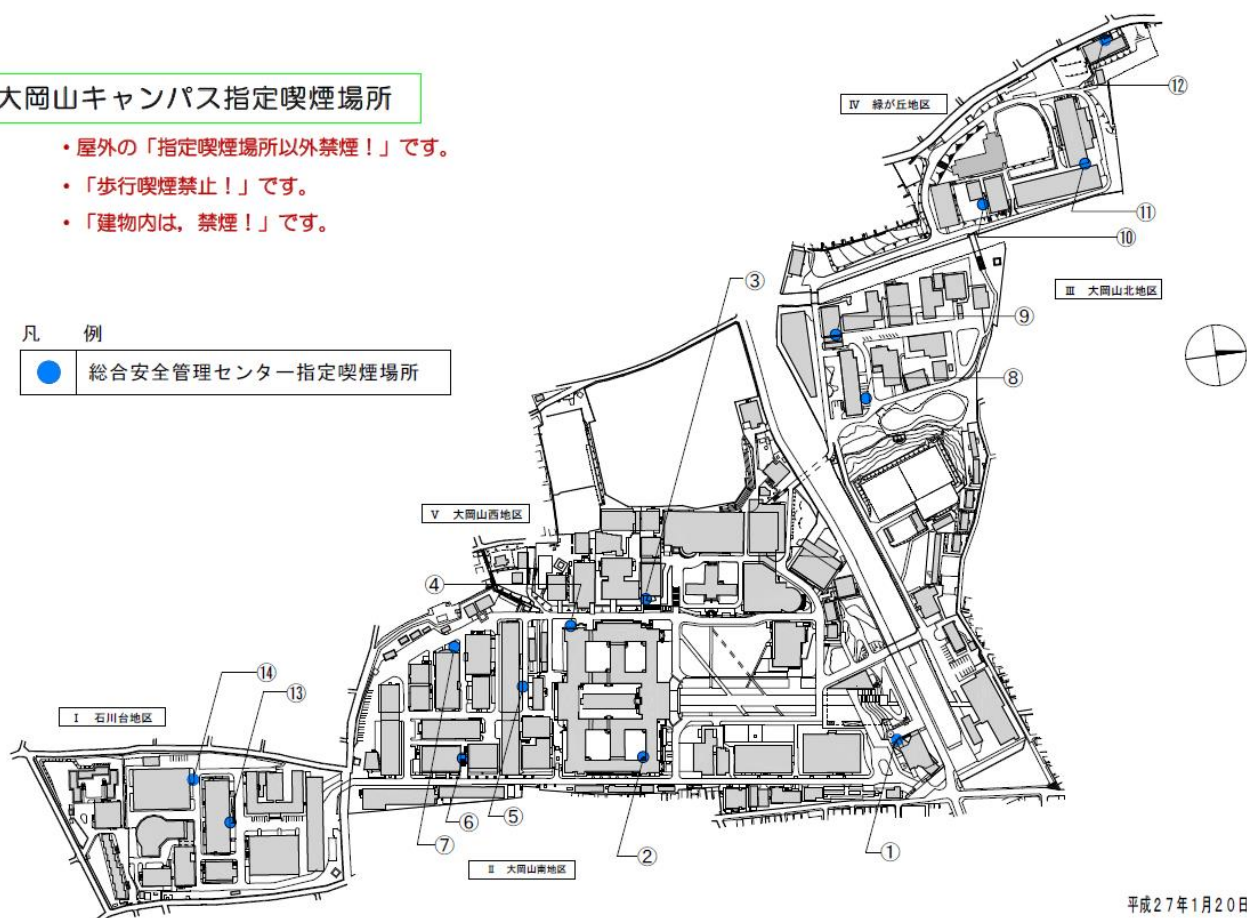
今回の学勢調査において、喫煙所を利用している人は回答者数 1794 人のうち 80 人となりました。現在、大岡山キャンパスには以下の場所に喫煙所が設置されています(図 5-3.1)。

大岡山キャンパス指定喫煙場所

- ・屋外の「指定喫煙場所以外禁煙！」です。
- ・「歩行喫煙禁止！」です。
- ・「建物内は、禁煙！」です。

凡 例

● 総合安全管理センター指定喫煙場所



平成27年1月20日現在

図 5-3.1 大岡山キャンパスの指定喫煙場所²⁷

²⁷ 大岡山キャンパス指定喫煙場所：<http://www.gsmc.titech.ac.jp/kituken/270121kituenmap-o.pdf>

5. 施設関連

喫煙所の場所に満足しているかについて、喫煙所を利用する学生と利用しない学生で、以下の回答が得られました。

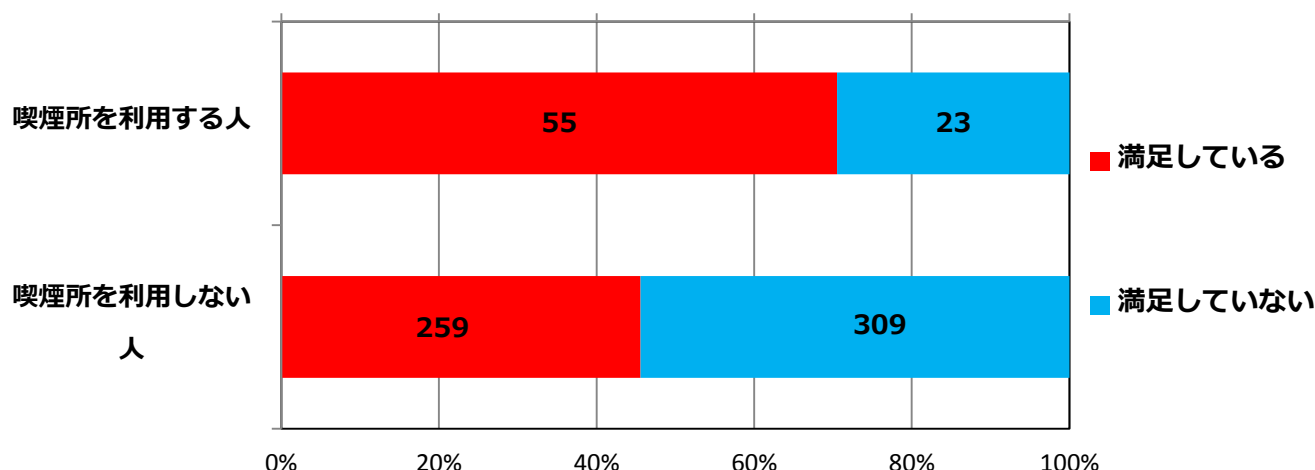


図 5-3.2 喫煙所を利用する学生と利用しない学生それぞれについての喫煙所に対する満足度の回答結果

図 5-3.2 より、喫煙をする学生は喫煙所に満足している割合が高く、喫煙しない学生は満足していない割合が高い事がわかりました。ただし、喫煙している学生の中にも、現在の喫煙所は隅に追いやられており、あまりいい気分でないという意見もありました。喫煙していない学生からは、喫煙所から臭いが拡散しているという指摘が多くありました。

また、屋外に設置された喫煙コーナーを建物から数十メートル離さないと受動喫煙を防げないというデータがあります²⁸。

安全企画室から書面で以下の回答をいただきました。

Q1. 人通りの多い場所に設置されている喫煙所(正門、第 2 食堂近く)がありますが、通行量などは検討されていますか。また、何か設置に理由がありますか。

A1. 喫煙場所の設置は、当該エリアを所管する部局の安全衛生委員会で検討されます。検討結果については産業医が現場確認の上で適否を判断し、産業医の助言を受け、総合安全管理センターで審議されます。以前は相当数の喫煙場所が点在していましたが、ここ数年で大幅な見直しを行い、現在は 20 か所程度にまで削減されています。第 2 食堂近くの喫煙場所については、第 2 食堂西側の自動販売機横と、西 2、3 号館入口付近にあった 2 か所の喫煙場所を縮減させるために、風による通行者への影響の少ない現在の地に移設させた経緯があります。現在の喫煙場所は削減後の残った喫煙場所になります。正門については目隠しのある人目のつかないような場所が選択されていますが、それでも受動喫煙となって健康被害があるという事であれば、関連部署に連絡し、調査検討します。

Q2. なぜ喫煙所は外にあるのですか。周囲との間に壁や天井(屋根)は設置できませんか。

A2. これまでも不特定多数の方が利用する建物内の禁煙が厚労省の指針などで示されていました。そのため、全学的に建物内を禁煙とする方針が出されています。また、建物外への喫煙室の設置については、一部の喫煙者のための財源確保の問題に加え、東京都への建築確認申請などの難しい課題もあります。

Q3. 昨年の厚生労働省の勧告によって、教育機関の敷地内での喫煙はできないようになるのでしょうか。

A3. 平成 27 年 6 月から事業者および事業場の実情に応じ適切な措置をとることが、事業者への努力義務になりました(労働安全衛生法第 68 条の 2)。この中で、事業者は受動喫煙の現状把握と分析を行い、衛生委員会などで具体的な対策を決めて実施し、実施後は効果を確認し必要に応じて対策の見直しを行うことが望ましいとされています。本学では産業医による巡視を行って適切な指導を行い、管轄する各部局の安全衛生委員会で検討されます。厚生労働省では、2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けて受動喫煙防止対策の強化に乗り出しており、「敷地内禁煙」、「建物内禁煙」、「原則建物内禁煙(喫煙所設置可)」の 3 つに分け、不特定多数の人が出入りする公官庁や公共施設では「建物内禁煙」などを議論している模様です。また、これらの方針を盛り込んだ健康増進法改正案が今年の 3 月上旬に提出される見込みで、社会福祉施

²⁸ 国立保健医療科学院 樺田尚樹「煙防止対策の現状と課題」

<http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-11201000-Roudoukijunkyoku-Soumuka/0000070592.pdf>

設、大学、官公庁、バス、タクシーなどは「屋内禁煙」とする内容になっているようです。本学でも産業医を中心に学内喫煙について検討していますが、学内を全て禁煙にすることによる学内・学外への影響等(隠れての居室内喫煙や学外歩行喫煙や商店街への配慮等)も踏まえ、慎重に議論しています。

提言

喫煙スペースを利用しない学生からは、現状の喫煙スペースに満足していない意見が多いため、対策が必要と考えられます。また、臭いが拡散しているという指摘が多くありました。これは、健康問題に直結する可能性があるため、早急に対策すべき問題と考えられます。しかし、全ての喫煙スペースを建物から数十メートル以上離れた位置に置くことは難しく、屋内に喫煙スペースを設けることは行政上の問題があることを踏まえ、喫煙スペースの改善について以下を提言します。

- 現在存在する喫煙所が適切な場所に置かれているかについて、外部の調査機関等と連携して評価を行う。
- 喫煙スペースと人通りの多い道の間壁(衝立)を設けることで、道路への煙の拡散を少なくし、利用者は壁から道にはみ出さないようにする。

学生の意見

- フリースペースが少ない、増やしてほしい。（同様意見 14 件）

現状分析

- フリースペースとしては、附属図書館地下 1 階や西 9 号館 2 階、コミュニケーションラウンジなどがあります。
- 学科ごとのリフレッシュルームはありますが、生命理工学部のリフレッシュルームは大岡山キャンパスには存在せず、生命科学科、生命工学科の学生が主に使用できるリフレッシュルーム也没有。

学生が充実させてほしい大学内の施設として、フリースペースは仮眠室に次ぐ 2 位となっています（図 5-4.1）。また、学習意欲向上に有効と思われるものとして、「自由にグループ学習できる場を増やす」を選択した学生が 211 名いました（図 5-4.2）。これらのことから、大学内での学生生活をより向上させるためにフリースペースの増設が必要と考えられます。

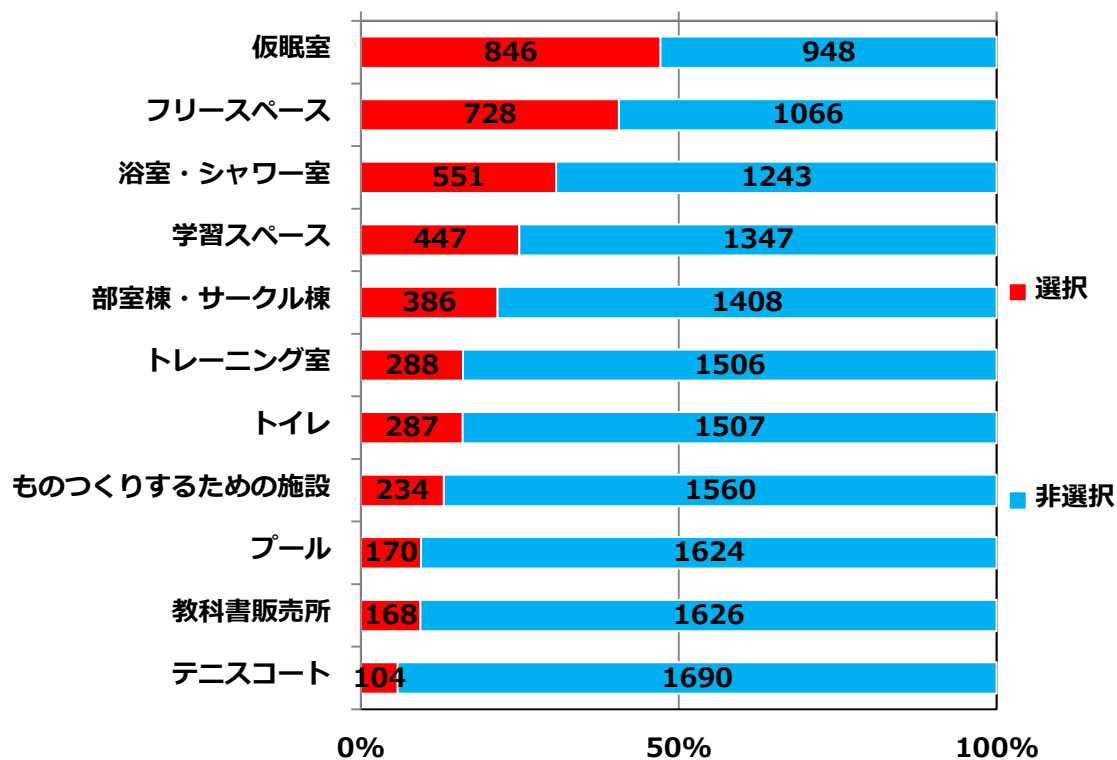


図 5-4.1 充実させてほしい大学内の施設

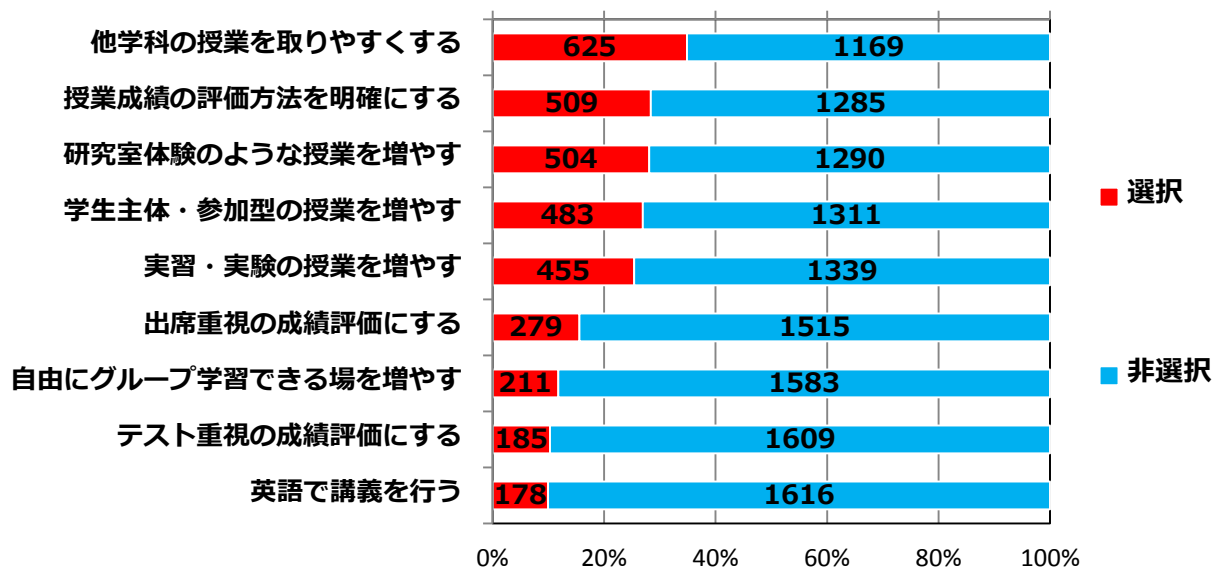


図 5-4.2 学習意欲向上に有効と思われる講義形態・施設・履修制度

これらの現状を踏まえ、学生支援課及び教務課とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

Q1. フリースペースを増やすことは可能でしょうか。

A1. (学生支援課)

旧附属図書館跡地の利用方法については、学生からの意見を踏まえて検討中です。跡地に新しくできる建物の1フロアは24時間利用にできないかと考えています。建物の完成は約3年後で、学生主体に利用できる建物を考えており、留学生との交流の場にもする予定です。

Q2. 大岡山キャンパスには生命理工学部のリフレッシュルームがありません。

A2. (教務課)それは良くないと思うので検討してみます。

以前の調査との比較

学勢調査 2014 の教務課とのキャンパスミーティングで、「フリースペースの設置等を扱う部署として新しいセンターを設置する予定」とありました。

提言

現在、既存の建物内にフリースペースを増築することは難しいと考えられます。また、旧附属図書館跡地については、学生支援課主導のもと、学生の意見を積極的に取り入れた建物の建設が予定されていることがわかりました。この建物が学生のキャンパスライフをより充実したものにするのを期待するとともに、学生側もどのような施設を導入してほしいか意見を言える環境が必要であると考えます。旧附属図書館跡地に建設予定の建物についてはすでに学生との意見交換会は行われているようですが、このような意見交換会を定期的に行っていくことを提言します。

また、2018 年度以降、生命理工学院では学部 3 年生までの講義は主に大岡山キャンパスで開講される予定となっています。それにもかかわらず、大岡山キャンパスに生命理工学院のリフレッシュルームがないことは生命理工学院の学生にとって不便が大きいです。旧附属図書館跡地に建設される建物の完成は約3年後であるため、生命理工学院のリフレッシュルームを大岡山キャンパス内に早急に設置することを提言します。

5.2. 設備一般

5 施設

2 設備一般

提言 5-5

ゴミ箱の増設

学生の意見

- ゴミ箱(図書館含む)を増やしてほしい。(同様意見 6 件)
- 図書館に消しカスを捨てるところがない。(同様意見 3 件)
- トイレのゴミ箱があふれて散らかっている。(同様意見 4 件)
- ゴミ箱を大きくしてほしい。

現状分析

大学内のゴミ箱は、屋内では講義室やトイレ、大岡山キャンパスの屋外では第 1 食堂前やなごみの広場、西 3 号館の前、第 2 食堂付近などに設置されています。屋外に設置されているゴミ箱の数は多くはありません。附属図書館では、ゴミ箱はトイレのみに設置されています。

休日にはゴミの回収が行われていないため、休日や休み明けにゴミ箱が溢れてしまうことがあります。特に屋外のゴミ箱や、附属図書館トイレのゴミ箱が溢れやすいようです。附属図書館では一口サイズのもの以外は食べることは禁止されているにも関わらず、弁当のゴミなどが捨てられていることもあります。屋外のゴミ箱は学外の利用者がゴミを捨てることも、ゴミが溢れる原因の一つであると考えられます。

マサチューセッツ工科大学やジョージア大学、ハーバード大学などの海外の大学や東海大学など多数の大学が、BigBelly Solar というスマートゴミ箱(図 5-5.1 参照)を導入しています(参考文献 1,2,3 参照)。このスマートゴミ箱は、ソーラーパネルにより発電をし、ゴミの蓄積状況を、携帯電話回線網を通じてリアルタイムに報告したり、ゴミを自動圧縮したりする機能(圧縮により通常のゴミ箱の約 8 倍収納可能)を装備したりしています。このスマートゴミ箱を導入することで、ゴミが溢れることを防ぎ、ゴミ箱の設置場所の最適化を図れます。導入価格は 25~45 万円ほどですが、回収頻度を減らせるため人件費を削減ができ、費用を回収することが可能であると考えられます。

また、附属図書館では消しカスのカスを捨てる場所がないとの意見が出ていたことから、他大学の対応を調査しました。すると、島根大学は図 5-5.2 のような、山口大学は図 5-5.3 のような消しカス入れを手作りしていました(参考文献 4-5 参照)。

参考文献(検索日:2017/02/25)

1. BigBelly Solar の販売会社: <http://bigbelly.com/>
2. 日本での販売会社: <http://www.nsw-cloud.jp/cloud/service/m2m/bigbellysolar/#topic>
3. 東海大学での導入: http://www.u-tokai.ac.jp/about/campus/takanawa/news/detail/post_300.html
4. 島根大学: <http://www.lib.shimane-u.ac.jp/blog/blog.asp?disp=BI326&ttl=%8F%C1%82%B5%83J%83X%93%FC%82%EA%81A%82%B2%97%98%97p%82%AD%82%BE%82%B3%82%A2>
5. 山口大学: <http://www.lib.yamaguchi-u.ac.jp/blog/index.php?e=503>



図 5-5.1 BigBelly Solar



図 5-5.2 島根大学の消しカス



図 5-5.3 山口大学の消しカス入れ

図 5-5.1 は参考文献 3 より、図 5-5.2 は参考文献 4 より、図 5-5.3 は参考文献 5 より、引用しました。

これらの現状を踏まえて学生支援課とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

Q1. どのくらいの頻度でゴミは回収されていますか。ゴミ箱が溢れていることをどう考えていますか。

A1. 収集するのが火曜日と金曜日なので、学外の方が土日にゴミを捨てることによって、月曜などに溢れることもあるようです。清掃契約は財務部担当となっており、今あるゴミ箱の配置を精査して、場所を検討中とのことです。ただ、設置箇所を増やすとゴミがさらに捨てられる問題もあります。情報の周知の徹底を行いながら、設置の検討をしていくとのことです。年末年始にゴミ箱が溢れるのも、学内者ではなく学外者が捨てている可能性もあります。そうすると入構規制をする必要がありますが、現状では厳しい状況です。

Q2. 休日に清掃員を雇うことは可能ですか。

A2. 休日だと大学側で管理するのが難しく、費用もかさむので難しいです。

Q3. スマートゴミ箱の設置は可能ですか。

A3. スマートゴミ箱は費用がかさみます。

また、情報図書館課とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

Q1. どのくらいの頻度でゴミを回収していますか。土日は回収していますか。

A1. 平日は毎日回収していますが、休日は回収していません。休み明けにトイレのゴミが溢れていることもあります。土曜日の午後や日曜日の朝あたりからゴミが溢れ始めます。図書館の 2,3 階は一口サイズのもののみ食べることは可能ですが、食べ残しや弁当のゴミなどが捨ててあることもあります。ゴミは持ち帰るように掲示していますが、あまり効果がありません。

Q2. 今よりも大きなゴミ箱に変えることや、ゴミ箱の数を増やすことはできますか。

A2. 旧附属図書館では、各階にゴミ箱を置いていましたが、使われ方が悪い問題がありました。人がいるカウンターの前にも置いていたのですが、使われ方が悪いままであったため、結局トイレだけに置いています。トイレのゴミ箱も溢れますが、さすがにゴミ箱をすべてなくすことはできないという状況です。多少大きなゴミ箱にすることは可能ですが、学生のマナーの方を改めてほしいです。また、衛生面の問題もあるので、ゴミ箱をトイレの外には出したくありません。

Q3. 休日は、図書館スタッフやバイトの学生にゴミの回収をしてもらえないですか。

A3. 学生スタッフ(図書館サポーター)は、基本的に平日の 17 時までの勤務です。月 20 時間以内で講義の合間にできることという方針のためです。休日は契約した外部業者に業務をお願いしています。契約上、ゴミの回収は休日スタッフの業務に含まれていませんが、今後、見直しができるかもしれません。

Q4. 休日はゴミ箱を撤去するもしくは、金曜日の夜にゴミ箱を閉じってしまうことは可能ですか。

A4. 休日のゴミ箱撤去や、金曜日の夜にゴミ箱を閉じることは検討できます。

Q5. 附属図書館における消しカスの処分について不満が上がっていますが、図書館は消しカスの掃除はどのようにしていますか。また、消しカス回収専用の小さなゴミ箱や塵取りなどをおいてもらえないでしょうか。

A5. 消しカスの掃除は、朝に清掃業者の方がしています。学生スタッフに紙でゴミ箱を作ってもらって、そこに捨ててもらうのはどうでしょうか。

提言

以上を踏まえて、以下の 4 つを提言します。

- 屋外のゴミ箱が休日や休み明けに溢れてしまう問題に関して、現在屋外にあるゴミ箱に変えて、BigBelly Solar 等のスマートゴミ箱に置き換えることを提言します。
- 附属図書館のトイレのゴミ箱が同じく休日や休み明けに溢れてしまう問題に関して、学生には、附属図書館のゴミ箱は消しカスやティッシュを捨てるために設置されているものであり、ペットボトルや弁当のゴミを捨てる場所ではないと改めて認識してもらうためにマナーを守るよう呼びかけることを提言します。
- 附属図書館には、一口サイズ以外の食べ物を食べることが禁止されていること、附属図書館にゴミ箱がある意味などが学生にはあまり伝わっていないという現状を踏まえ、学生に伝えたい情報や学生に守ってもらいたいマナーについての大きなポスターを入口など目につきやすい場所に貼ることを提言します。

5. 施設関連

- 消しカスを捨てる場所がほしいという学生の意見に関して、他大学のように(図 5-5.2 や図 5-5.3 など)、附属図書館の学生スタッフが消しカス入れを作成し、机に設置し、自由に使用可能とすることを提言します。また、学生スタッフが集めた消しカスを回収して捨てる業務をすることを提言します。

学生の意見

- 「東工大をよりよい大学にするために、何が必要だと思いますか。(複数選択可)」において「施設の環境の向上」が一番高かった。(図 5-6.1 参照)
- プロジェクターに HDMI を対応させてほしい。
- プロジェクターの故障など、施設上の問題への対処が追いついていない。

現状分析

いくつかの講義室(本館の H101 や H201 など)で、一部のパソコンとプロジェクターの相性が悪いことや、プロジェクターの端子が最新のパソコンに対応していないことが原因で、プロジェクターを使用できないことがあり、講義運営にも支障が出ています。インテル社によると、2010 年から、大手のパソコンメーカーは VGA から HDMI や DisplayPort に移行しており²⁹、VGA のプロジェクターは時代遅れとなってきました。特に、薄型のパソコンは VGA に対応していないものが多いため、接続するには別途アダプターが必要となることがあります。また、Mac では Thunderbolt や Mini DisplayPort と USB を兼ね備えたものなど、3 種類ほどバージョンがあります。端子変換アダプター(VGA から HDMI など)などは、プロジェクターを新しく購入するより、安価に購入することが可能です。

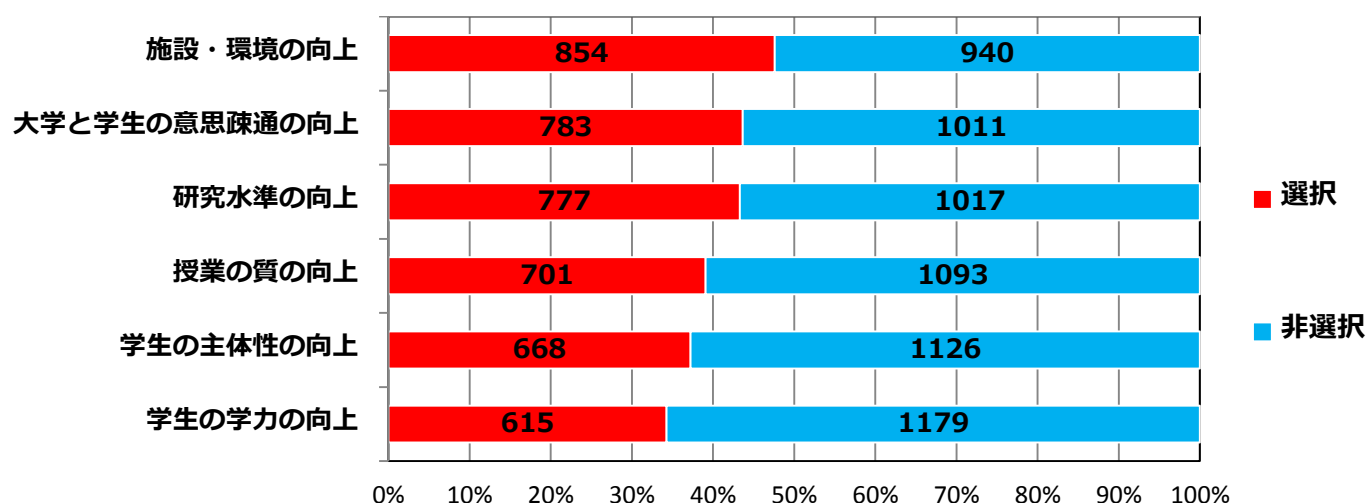


図 5-6.1 東工大をよりよい大学にするために、必要と思うものの回答結果

これらの現状を踏まえ、教務課とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

Q1. 2010 年より VGA から HDMI や DisplayPort に移行する動向がありますが、HDMI ケーブルや Thunderbolt ケーブルに対応したプロジェクターや、変換アダプターを各教室に拡充できませんか。

A1. 教務課では各講義室の老朽化したプロジェクター等の機器を年次計画で更新を行っており、その際に HDMI 端子を設置するなどのデジタル化も併せて行っています。

Q2. すべての講義室を HDMI に対応させられますか。

A2. 順次変えていきますが、具体的にいつ完了するかは未定です。

²⁹ インテル社 ニュースルーム

「Leading PC Companies Move to All Digital Display Technology, Phasing out Analog」:

<https://newsroom.intel.com/news-releases/leading-pc-companies-move-to-all-digital-display-technology-phasing-out-analog/>

5. 施設関連

さらに、パソコンとプロジェクターの相性が悪いと、プロジェクターに映すことができない原因について、水本副学長から、以下のような解説を受けました。

A2: 水本副学長. コンソール付のプロジェクターだと、PC のソースの出力解像度が低いとプロジェクターに映りません。コンソールの仕様の問題です。また、VGA から HDMI に変換するアダプターと、PC のメーカーが異なると映らないことがあります。これはアダプターが PC から電源を取っている場合に、PC がその電源をサポートしてないと問題が起きます。

提言

プロジェクターを使用して講義を行っている教員が少なくない中、プロジェクターがパソコンに対応しておらず使用できない場合があるのは不便であり、講義運営にも支障をきたします。しかし、全てのプロジェクターを新しくすることは、予算的に厳しいと考えられます。

そこで、全ての講義室のプロジェクターを調査し、端子が最新のパソコンに対応していない場合は、変換アダプター（HDMI や Thunderbolt への変換）やケーブルを設置することを提言します。また、パソコンとプロジェクターの相性が悪い場合に備えて、パソコンの貸し出しを行うことを提言します。

5.3. 図書館

学生の意見

附属図書館の開館時間の延長に対する要望が 53 件ありました。

- 朝早くから開館してほしい。（同様意見 10 件）
主な理由： 1 限前に講義の予習をしたいから。
- 遅くまで開館してほしい。（同様意見 9 件）
主な理由： 研究室の帰りに利用したい。
- 24 時間開館してほしい。（同様意見 14 件）
主な理由： 海外の大学の図書館は 24 時間開放しているところも多く、海外の大学に倣ってほしい。
社会人学生は夜間や祝日の登校がメインであるため、24 時間開館していると利用しやすい。
- 自習室のみでも開館時間を延長してほしい。
- 祝日で講義がある日は平日と同じ開館時間にしてほしい。（同様意見 10 件）
- 土日の開館時間を平日と同じにしてほしい。（同様意見 9 件）

現状分析

現在の附属図書館（以下、図書館）の開館時間は以下のようになっています（表 5-8.1）。

表5-8.1 東工大図書館の開館時間		
	大岡山キャンパス	すずかけ台キャンパス
通常平日	8:45-21:00	8:45-21:00
土日	11:00-19:30	11:00-17:00
祝日授業の日	11:00-19:30	11:00-19:30
長期休み	8:45-17:00	8:45-17:00

図書館の開館時間に対する満足度について尋ねたところ、図 5-7.1 に示す回答が得られました。

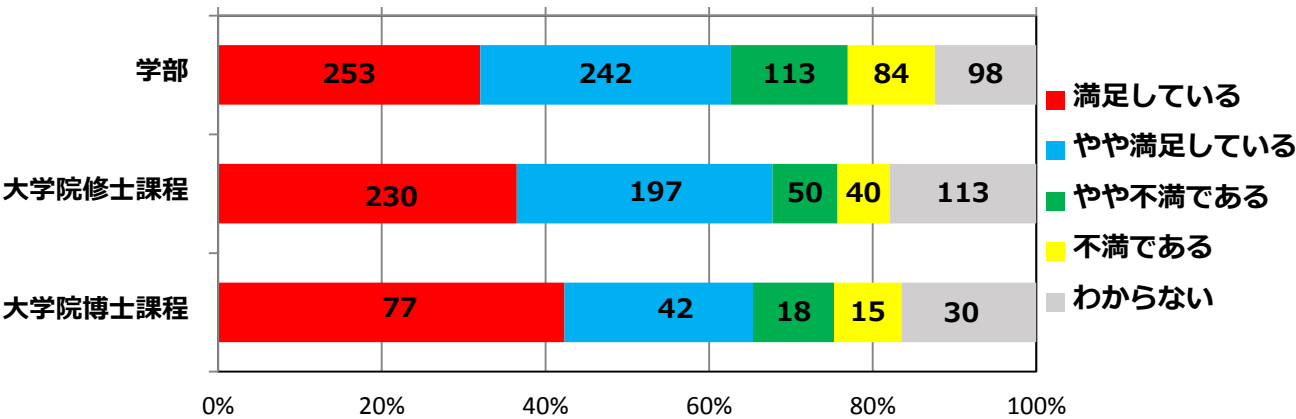


図 5-7.1 図書館の開館時間に対する満足度についての回答結果

「満足している」、「やや満足している」という回答が多いですが、一方で、「やや不満がある」または「不満である」と回答した学生も 15～25%ほどいることがわかりました（図 5-7.1）。

5. 施設関連

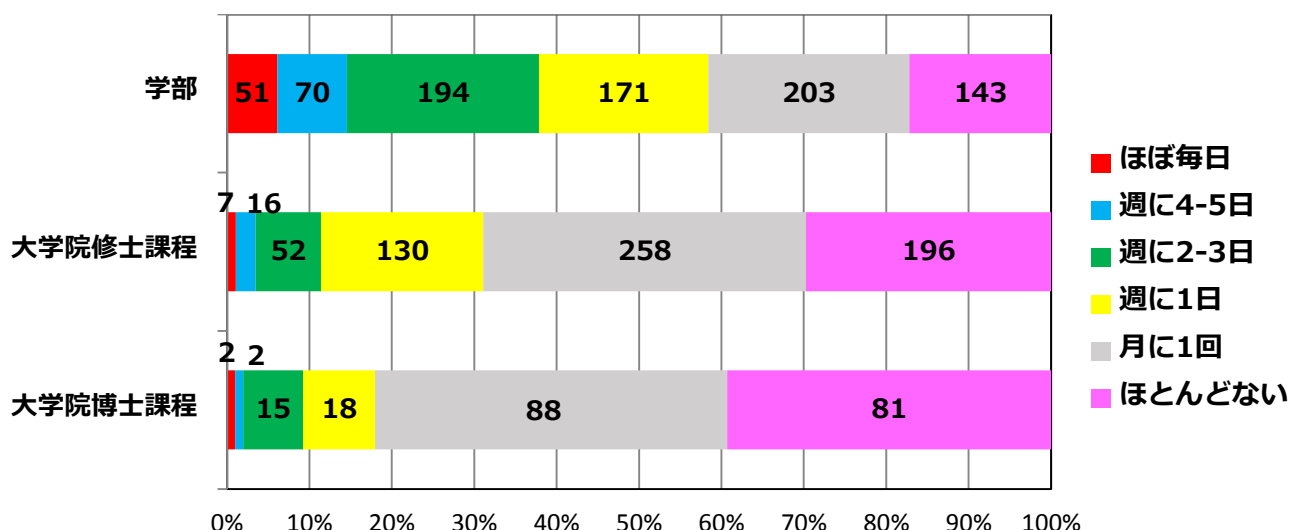


図 5-7.2 図書館の利用頻度についての回答結果

図書館を利用する頻度について尋ねたところ、以下の回答が得られました。学部生は「週に 2～3 日利用する」、「週に 1 日利用する」「月に 1 日利用する」が多いですが、大学院生は「月に 1 回」、「ほとんどない」が多くなっています(図 5-7.2)。

また、図書館を利用する学生の主な目的について、図書館の本の借り出しか自習学習かについて、前同学勢調査 2014 の結果は以下のようになっています。

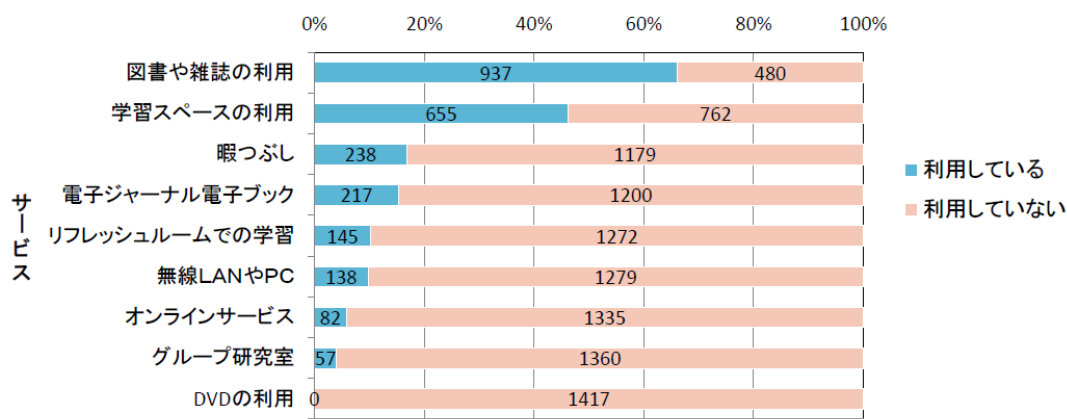


図 5-7.3 図書館の利用状況(大岡山キャンパス)(2014 年度)

図 5-7.3 より、学生の図書館利用状況は「図書や雑誌の利用」、「学習スペースの利用」が多いことがわかります。

また、開館時間の延長に関する要望は、学勢調査 2012 では 65 件、学勢調査 2014 では 62 件であったのに対し、今回の調査でも 51 件あることから、依然として開館時間の延長に対する要望が多いことがわかりました。

これらの現状を踏まえ、情報図書館課とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

Q1. 現在の図書館利用者数、利用時間はどのようになっていますか。

A1. 試験期間以外の平日は 20 時を過ぎると利用者が一気に減ります。また、試験期間中も 21 時を過ぎると利用者数が約 10 分の1になります。試験期間中の午前中の利用者数も少ないです。また、地上の利用者は少ないので、開館時間を延長するのであれば、地下のみでよいのではないのでしょうか。

Q2. 夜間や朝早くに開館時間を延長する場合、何が問題になるのでしょうか。

A2. 開館時間を延長するには光熱費や人件費もかかるので難しいですが、安全面が一番の問題です。一番危惧しているのは学生が泊まる場所として使うことであり、その場合は厳重な警備が必要となります。そうすると人件費の問題も発生します。

学勢調査 2014 での提言を受けて、土日の開館時間を延長しましたが、今年度からクォーター制になって試験期間が増えたことにより、経費が増加しています。海外の大学では 24 時間開館しているという指摘がありますが、それは学内に寮があるためにキャンパスが安全に保てているためと考えられます。

なお、祝日講義の開館時間について、来年度は 9:00～20:00 に改善する予定です。朝早くから開館することについては、掃除をしている中でも利用したいのであれば可能かもしれません。

日本にも、図書館の一部を 24 時間開館している大学があり、その一つが京都大学の自習室 24 です。開館時間は月曜日～金曜日 10:00～22:00、土日祝日 10:00～19:00 です。学習室 24 はラウンジスペースと自習席スペースからなっており、自習席の席数は約 100 席です。京都大学附属図書館に利用状況や開館にあたっての注意点について伺いました。

Q1 具体的に 24 時間開館していることによって生じる問題(安全や学生の利用マナーなど)についてどのように対処されていますか。

A1: 京都大学 学習室 24 の入口は図書館本体とは別になっており、身分証の認証によって開閉する自動ドアになっています。退室時にも認証が必要です。図書館本体が閉館している深夜は、警備会社のガードマンが 1 名、ラウンジスペースに常駐しています。

学生のマナーについては、深夜に限ったことではないですが、荷物を放置したまま帰ってこない学生がいるため、特に試験期等は、他の学生から対応を求められることがあります。また、ラウンジスペースは飲食可にしています(他の館内エリアも蓋付飲物なら可)が、ときに臭いの強い食べ物を摂られる事があり、他の利用者からクレームが出ることもあります。

Q2 学生の時間ごとの学習室 24 の利用割合についてご存知であれば教えてください。

A2: 京都大学 京都大学図書館報「静脩」に、休業期と試験期の夜間平均在室者数を載せています(平成 25 年度のデータ³⁰として、試験期の 22 時～8 時は 50～80 名、休業期の 22 時は約 40 名で 8 時には 10 名ほどに減っている)。学習室 24 の利用者数は平成 26 年度を底に、翌年度から増加に転じています。

提言

図書館の開館時間について、現状に満足している学生が多いものの、不満に思っている学生も一定数いることから、改善が望まれます。また、研究室の帰りに利用したいという学生の意見から、開館時間の延長は研究の促進に役に立つと考えられます。

現状の学生の利用状況としては 20 時以降が少ないとのことですが、これは 21 時に閉館するためであり、閉館時間を遅くすると 20 時以降の利用者数が増える可能性があります。また、早くから開館していると学生が 1 限前に予習ができるという意見もあることから、図書館の開館時間について以下を提言します。

- 通常の開館時間は 8:20～22:00 にする。
- 土日の閉館時間を 20:00 にする。

さらに、自習室を 24 時間開館してほしいという学生の意見と、京都大学附属図書館の学習室 24 の夜間利用者数が年間を通してのべ 17 万人ほどいる³⁰ということから、以下について提言します。

- 試験期間中のみ、試験的に自習室を 24 時間開館にし、どれくらい利用されるのかを調べる。

³⁰ 京都大学図書館報「静脩」:<http://hdl.handle.net/2433/189268>

学生の意見

- 図書館の近くに自動販売機を設置してほしい。（同様意見 2 件）
- 2,3 階の学習スペースに水飲み場(飲食含む)がほしい。（同様意見 4 件）

現状分析

現在、附属図書館の館内や周辺に自動販売機や給水所がないため、学生から設置が求められています。また、平成 27 年 1 月、地上階の学習スペースはリニューアルオープンによって水分補給が可能になり、コーヒーを飲みながら学習ができると宣伝されていますが、館内で飲料を購入することはできません。給水は学習効果を上昇させるとの報告もある³¹ため、学習室の近くで水分を摂取できる設備が必要と考えられます。また、夏期は附属図書館地上階にあるガラス張りの学習スペースは暑いとの声も上がっており、熱中症対策としても有効であると考えられます。

これらの現状を踏まえ、情報図書館課とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

- Q1. 館内に自動販売機や給水所を設置できませんか。2 階をリニューアルした際に、自動販売機を置くなどの検討はされましたか。
- A1. 自動販売機の設置は検討しました。しかし、自動販売機の業者から売り上げなどを考えて断られました。電気をどう取るかも問題です。1 階だと車椅子が通れなくなり、広い場所だとコンセントがなかったり、コンセントがあるのが非常ドアの近くで置けなかったりします。自動販売機は、第 1 食堂の近くには自動販売機があり、図書館に近いので設置は厳しいと思います。給水施設については、どこから水を取るかが問題になり、今は導入できません。
- Q2. 附属図書館の周辺に自動販売機は設置可能ですか。
- A2. 景観やスペース、電源等の問題もありますので、施設運営部等学内他部署との相談が必要になります。
- Q3. 今後も自動販売機を設置することは厳しいでしょうか。検討もされませんか。
- A3. 自動販売機を置いてほしいという声が大ききようであれば、検討します。

提言

現状では自動販売機の業者との問題や設備の問題があるため、附属図書館内に自動販売機や給水器を設置するのは難しいようですが、学生からの需要や、現状分析を踏まえると、給水設備の導入が望まれます。

そこで、附属図書館への自動販売機や給水器の導入を再度検討することを提言します。

³¹ J Sch Health. 2016 Jun;86(6):407-13. doi: 10.1111/josh.12391.

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/27122140>

5.4. 生協

5 施設

4 生協

提言 5-9

ヘルシーメニュー等の充実

学生の意見

- 脂っこいメニューが多いので、野菜を増やして欲しい。（同様意見 95 件）
- ハラルフードは導入されつつあるが、糖質中心で、タンパク質や野菜などは未だ少ない。（同様意見 28 件）
- ベジタリアン向けのメニューが少ない。
- 栄養バランス良く食べようとすると値段が高くなる。（同様意見 24 件）

※弁当に対する意見も含む

現状分析

現在の学食メニューに対し、脂っこいという意見、野菜中心のメニューを増やして欲しいという意見が多数見受けられました。ヘルシーメニューを求めるのは女子学生が多いのではないかと考え、性別によってどのようなメニューを求めているのかを調査しました(図 5-9.1)。

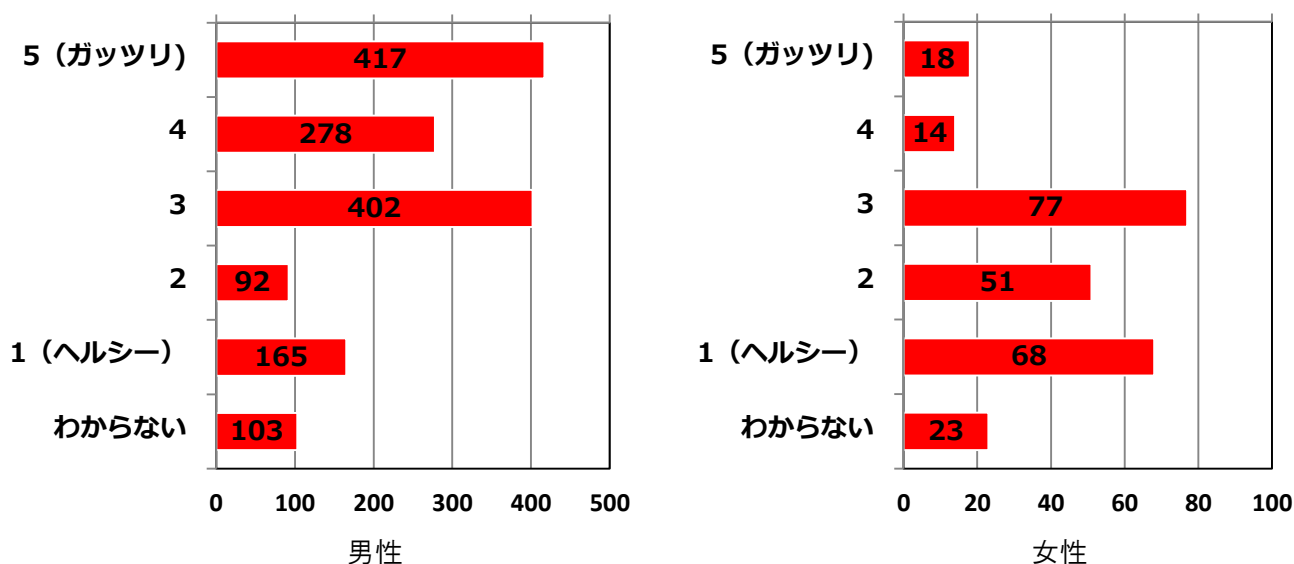


図 5-9.1 「学食のメニューに求めるものは何ですか？」という質問への性別ごとの意見

図 5-9.1 からわかるように、女子学生はヘルシーな食事を求める割合が多くなっています。男子学生は量やカロリーを求める割合が多いものの、一定数はヘルシーさを求める学生もいることがわかりました。本学は男子学生の比率が多く、販売数でみれば量やカロリーの多いメニューが多く売れると予想されます。そのため、ヘルシーなメニューを求めている学生から意見が寄せられたと考えられます。現状では、大岡山キャンパスの生協ではサラダは販売されていません。すずかけ台キャンパスの生協ではサラダが販売されています。

さらに、ハラル推奨メニューについても調べてみたところ、次のような現状となっていました。

- 全国大学生生活協同組合連合会のホームページ³²「ハラル推奨メニューの提供について」では、大皿のものばかりで、サラダなどは見つけれなかった。
- 東工大生協では、ムスリムの学生と共同でハラル推奨メニュー試食会を開催している。³³

³² 全国大学生生活協同組合連合会「ハラル推奨メニューの提供について」

<http://www.univcoop.or.jp/service/food/halal.html>

5. 施設関連

これらの現状を踏まえ、生協とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

Q1. 前回の学勢調査 2014 でのキャンパスミーティングでは、栄養バランスをよくするために小皿メニューの利用を推奨という方針でしたが、実際に小皿の売り上げはどのようになっていますか。

A1. 第 1 食堂におけるコールドショーケースの配置換えや小皿メニューのポスター掲示などにより、小皿やサラダの売り上げは増加しています。

Q2. サラダバーの復活は可能ですか。

A2. 衛生面の問題やコールドショーケースの導入を考慮すると難しいです。他大学ではコンビニエンスストアでサラダを買う学生が多いところもあるとの話があります。食堂にパッケージングされたサラダを置くことは検討できます。

Q3. ハラル推奨メニューを増やすことは可能ですか。

A3. ハラル推奨メニューを増やすよう努力しています。非ムスリムの学生が、自分たちは食べてはいけないのではないかと考え、そのようなことはないのですが、避けてしまうこともあってハラル推奨メニューを増やすのが難しいという現状です。

Q4. 女性向けのメニューを販売することは可能ですか？

A4. 過去に女性向けメニューを試験的に販売したことがありましたが、売り上げは良くありませんでした。東工大は男子学生が多いので、どうしても揚げ物や肉などが中心になります。ただ、魚のメニューもあり、今後増やしていく予定です。第 1 食堂と第 2 食堂でメニューの傾向を変えることならできるかもしれません。

以前の調査との比較

前回の学勢調査 2014 において、次のような提言をしています。

5.20 ヘルシーメニューの充実

小皿メニューをレジ周辺の目につきやすいところに設置すること、張り紙で宣伝する

5.23 ハラルメニューの充実

ハラルメニューの種類の充実、ハラルメニューの一般化に向けた環境づくり

5.20 は現在実施されています。図 5-9.2 は大岡山キャンパス第 2 食堂に掲示されているポスターの写真であり、出食を待つ列に並んでいる学生が見ることのできる位置に貼ってあります。



図 5-9.2 第 2 食堂の出食列の壁に掲示されている小皿メニューのポスター

³³ 東工大ニュース ハラル推奨メニュー試食会開催～ムスリム留学生が楽しく利用できる学食へ：
<http://www.titech.ac.jp/news/2013/023781.html>

提言

女子学生の増加や、グローバル化により、食堂メニューへの要望は多様化していると言えます。多くの利用者に配慮したメニューを提供することで、より生協食堂を活気づかせることができると考えられます。学業や研究に励み、将来社会で活躍する人材になるには体が資本であり、日々の食事は非常に大切です。そのためには揚げ物などだけではなく、野菜などの摂取も重要であり、ヘルシーメニューやサラダなどが購入しやすい環境になることが大切だと考えられます。これまで生協では様々な改善策をとっており、実際に、2014 年度に比べて 2016 年度ではサラダの売れ行きは増加傾向にあります。ヘルシーメニューのさらなる充実に向けて、次の 2 つを提言します。

- すずかけ台キャンパスのように、大岡山キャンパスの生協食堂にも、パッキングされたサラダを販売することを提言します。
- ハラル推奨メニューの充実には、売り上げ確保が重要です。ムスリムではない学生も利用可能であることをアピールする必要があると考えます。非ムスリムの学生も購入可能であることを宣伝し、利用対象を全学生に拡充することで、ハラル推奨メニューを充実することを提言します。

学生の意見

- 昼食時、非常に混んでいる。（同様意見 103 件）
- 食堂が混雑しているため座れないことがある。（同様意見 31 件）
- 下膳用のベルトコンベアが遅い。（同様意見 3 件）

現状分析

大岡山キャンパス、すずかけ台キャンパスの生協食堂を利用する学生は多く、半数近くの学生が昼食を生協食堂でとっています(図 5-10.1)。

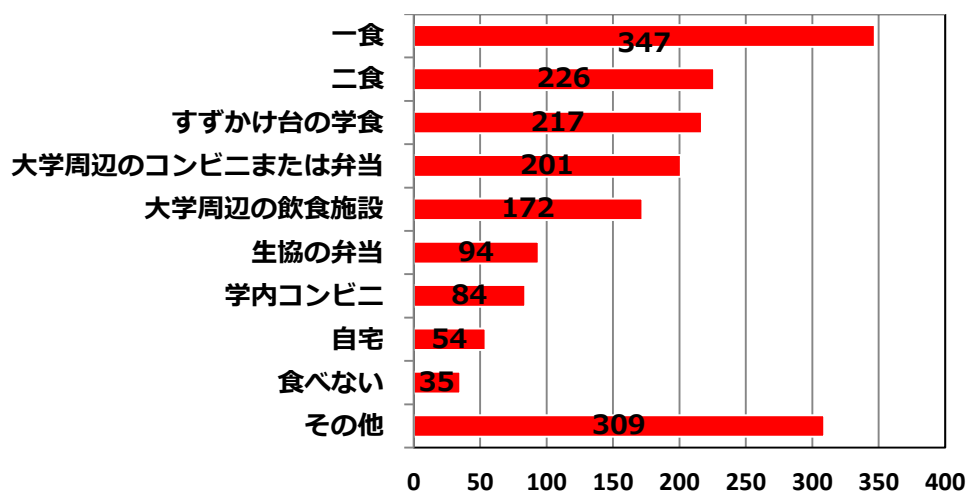


図 5-10.1 本学学生が主に昼食を食べる場所

また、週に 3、4 回以上生協食堂を利用する学生も半数近くおり(図 5-10.2)、学生にとって生協食堂は欠かせない存在であると言えます。

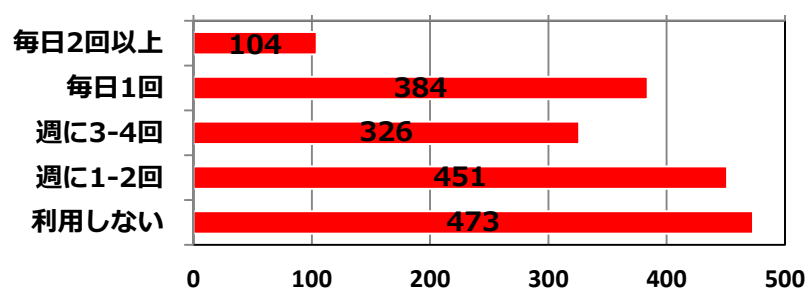


図 5-10.2 本学学生の学食利用頻度

ただ、利用学生が多い分、特に昼休みなど昼食時が混雑してしまい、利用しづらい面もあると考えられます。食堂の混雑の原因として、以下の事柄が考えられます。

- メニューの値段が 1 円単位のため、レジでの小銭の支払いに時間がかかっている
- すずかけ台キャンパスの食堂では、2 階がカフェとなったことで、利用できる座席数が減った
- 出食スペースでの混雑

これらの意見を踏まえ、生協とのキャンパスミーティングを実施し、以下のような回答を頂きました。

Q1. 下膳のベルトコンベアの速度を速めることは可能でしょうか。

A1. その後の食器の仕分け等は人力で行っているため、ベルトコンベアの速度を上げるのは難しいです。

Q2. メニューの値段を 10 円単位にすることは可能でしょうか。

A2. 消費税が導入された際に、基本的に外税にしました。現場での価格変更は可能ですが、全てのメニューの価格を 10 円単位にするのは大変で、値上げの可能性も生じます。それよりは、IC カードを使って欲しいと考えています。学食パスは新入生の 30～40%しか利用していません。

Q3. 学食パスのチャージ機を学食近くに設置することは可能でしょうか。

A3. 学食パスに関しては手作業でチャージの記録を取っており、システムを変えることは難しいです。また、レジのせいで混雑しているわけではなく、出食(メニューを注文し、厨房から提供してもらう段階)のスピードによると考えています。出食のスピードを上げるには簡単に出せるメニューを増やせばいいのですが、それが美味しいと感じていただけるかという問題があります。

Q4. 座席数を増やすことは可能でしょうか？

A4. 本学は他大よりも座席密度を高しており、これ以上座席数を増やすのは難しいです。院生などは学部生と時間がかぶらないように来てくれています。

提言

ベルトコンベアの速度上昇や、食堂付近の学食パスチャージ機の設置等は、システム上難しく、かつ混雑解消の根本的な解決方法にはならないことがわかりました。回転率を向上するために次の 2 つを提言します。

- 学部1～3 年生の主な利用時間である昼休みと被らないような院生・教員利用推奨時間を設け、ポスターで周知を図る。
- 厨房スタッフの増員を提言します。例えば第 1 食堂は厨房が広く、厨房スタッフを増やすことでより効率的に出食できるようになると考えられるので、食堂が混雑する昼休みの時間の厨房スタッフ増員を提言します。